

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2013年7月31日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 明日8月1日 生活保護引き下げに 抗議します！

各地で宣伝行動 18:30 から集会（札幌市民ホール）に参加しましょう

今年8月から2015年4月にかけて、生活保護費が3段階で引き下げられます。明日8月1日（木）、札幌市などでは、生活保護費が引き下げられるはじめての支給日です。今でも、多くの生活保護利用者が、少ない保護費で、生活を切りつめながら、なんとか生活しています。これ以上削減されたら、暮らしが成り立ちません。

明日1日は、札幌市各区や旭川市などで、2日には、小樽市や岩見沢市などで宣伝行動が行われます。

10時～ 札幌北区 ダイエー麻生店前で宣伝

### 生活保護引き下げに抗議する学習決起集会

集会では、北星学園大学の木下准教授が生活保護基準引き下げの問題点について講演し、不服審査請求を決意している方からも訴えがあります。行動提起のあと、「生活保護を良くする会」を正式に結成する予定です。

### 不服審査請求決意者

450名(7/30 現在)

新聞を見て、電話で「参加したい」と表明した70代女性

「今でも灯油代を節約し、それで下着など衣類を買っています。食事も一日2食。削られたらひどいことになります。脳梗塞による麻痺があり、字が書けないので、(申請手続き) 助けてもらいたい」

## 帯広市 生保基準引き下げ 51制度/来年度は就学援助など2306人に影響 各自治体に生活保護基準引き下げの影響とその対応を確認しましょう。

帯広市では、共産党市議の質問に対しては、「全ての生活保護受給世帯が減額の対象となり、月額約700円から9400円の減額となり、1世帯平均1700円の減額の見込み。期末一時扶助は単身620円、二人世帯5780円、三人世帯18070円と多人数世帯ほど減額幅が大きくなっている」と答えました。

「生活保護基準引き下げに伴い影響のある事業数は51で、利用者12万4千人、来年度以降を含め影響を受ける人数は2300人」と回答しました。来年度以降の対応については「国の対応を見極めながら対応したい」と述べるに留まり、共産党市議は「国の対応がどうあれ、ほとんどの制度が生活弱者を支援・救済する制度で市独自に対応すべき」と強く求めました。

### 238人の子どもが

就学援助が  
利用できな  
くなります。



各自治体でも、生保基準引き下げで影響する制度やその対応など確認し、改善のとりくみを進めましょう。

## 旭川市 就学援助を拡充させよう！ 「子育て支援を充実させる会」

旭川市では、就学援助制度や子ども医療費助成などを改善させるため、「子育て支援を充実させる会」を作り活動しています。旭川市は、今年2～4月、就学援助制度についてパブリックコメントを行いました。新婦人など社保協の団体、個人も積極的に応募しました（右資料）。

市は、それを受けて、6月に就学援助制度検討懇話会を設置し、月1回程度会議がもたれています。委員が公募されたため、社保協の構成団体の会員も応募し2名が参加しています。

### パブコメ結果

507件（個人504 団体3）

主な意見

- 収入基準額の引き下げに反対 164  
(生保基準引き下げに連動反対 66)
- 制度を充実してほしい 197
- クラブ活動費、生徒会費、PTA会費も加えてほしい 73
- 制度を継続してほしい 86

各自治体でも、就学援助拡充の取り組みを広げましょう。

